

令和 5 年 3 月 3 0 日
調布市教育委員会指導室

令和 4 年度 調布市教育シンポジウムの報告について

- 1 日 時 令和 5 年 1 月 2 8 日（土）午前 9 時 3 0 分～午前 1 1 時 5 0 分まで
来場による参加及びYouTubeによるライブ配信
- 2 場 所 調布市文化会館 8 階映像シアター
- 3 テーマ 「これからの社会を生きる子どもたちのために学校と地域で何ができるか」
～コミュニティ・スクールの可能性～
- 4 参加者 来場：5 0 名 視聴：1 3 2 名
- 5 内 容

（1）調布市の施策紹介

- 【内容】・コミュニティ・スクール導入の背景
- ・調布市コミュニティ・スクールの概要
 - ・学校運営協議会委員について
 - ・学校運営協議会の内容
 - ・地域学校協働本部との連携

（2）講演「コミュニティ・スクールの可能性」 講師：文部科学省CSマイスター 竹原 和泉 氏

- 【内容】・なぜ、学校と地域が連携協働するのか
- ・どのような仕組みですめるのか
 - ・たとえば、どんな動きがあるのか

（3）パネルディスカッション

司 会	文 部 科 学 省	CS マイスター	竹原 和泉 氏
登壇者	八王子市立松木中学校	校 長	大熊 一正 氏
	調布市立第五中学校	校 長	小坂 力 氏
	調布市立上ノ原小学校	P T A 会 長	小川 克久 氏
	調布市立第三小学校	地域コーディネーター	塚松 美穂 氏
	調布市教育委員会教育部	副参事兼指導室長	所 水 奈

【テーマ】「これからの社会を生きる子どもたちのために学校と地域で何ができるか」
～コミュニティ・スクールの可能性～

- 【内 容】・自己紹介と現在自分で取り組んでいること
- ・取り組んでいることで何か困難に感じていることがあるか
 - ・これから自分で取り組んでみたいこと

（4）アンケート結果（Google Formsによる）

- コミュニティ・スクールをこれから運営していく一員として将来像や理想像を再確認できました。課題は委員の人選・活動の目的、コンセプトがまだ明確ではないので、当事者として考えていきたいと思えます。
- 委員選定の重要性を改めて感じました。目的を共有して建設的な話し合いを行うことができ、責任を共に担ってくださる方々と共に学校経営を行っていけるなら、これほど心強い事はないと感じます。まずはコミュニティ・スクールについての理解を地域・保護者・教員を巻き込みつつ、行っていきたいと思いました。
- シンポジストの話が、コミュニティ・スクールを行うことに前向きで、これからの学校と保護者や地域の在り方について、それぞれの立場でやれることや、やりたいことを率直に話していていいシンポジウムだったと思いました。